

物質名	測定方法				備考	
	試料採取方法	分析方法	定量下限	適用前処理方法		
ニッケル	ろ過捕集法	石英繊維製 フッ素樹脂繊維製 ニトロセルロース製	フレイム原子吸光分析方法 (直接)	定量下限値: 0.3 $\mu\text{g/mL}$	①フッ酸、硝酸、過塩素酸法 ②圧力容器法 ③塩酸、過酸化水素法 ④王水法	・最終試料液の量が25mL、空気採取量が200L (20L/min × 10min) の場合の定量下限濃度は、0.0375mg/m <sup>3</sup> となる。
			フレイム原子吸光分析方法 (抽出)	定量下限値: 0.05 $\mu\text{g/mL}$	①フッ酸、硝酸、過塩素酸法 ②圧力容器法 ③塩酸、過酸化水素法 ④王水法	・最終試料液の量が25mL、空気採取量が200L (20L/min × 10min) の場合の定量下限濃度は、0.00625mg/m <sup>3</sup> となる。
			電気加熱原子吸光分析方法	定量下限値: 0.003 $\mu\text{g/mL}$	①フッ酸、硝酸、過塩素酸法 ②圧力容器法 ③塩酸、過酸化水素法 ④王水法	・最終試料液の量が25mL、空気採取量が200L (20L/min × 10min) の場合の定量下限濃度は、0.000375mg/m <sup>3</sup> となる。
	ろ過捕集法	セルロースエステル系 メンブランフィルター	ICP-MS法	定量下限値: 0.00033 $\mu\text{g/mL}$	①フッ酸、硝酸、過塩素酸法	・最終試料液の量が25mL、空気採取量が200L (20L/min × 10min) の場合の定量下限濃度は、0.00004125mg/m <sup>3</sup> となる。
砒素	ろ過捕集法	グラスファイバーろ紙	吸光光度分析方法			ガイドブックの三酸化砒素と同様
	ろ過捕集法	石英繊維ろ紙	原子吸光分析方法		⑤硝酸、硫酸法	ガイドブックの三酸化砒素と同様
	ろ過捕集法	石英繊維製 フッ素樹脂繊維製 ニトロセルロース製	原子吸光分析方法 (水素化物発生)	定量下限値: 0.0005 $\mu\text{g/mL}$	②圧力容器法 ⑤硝酸、硫酸法	・最終試料液の量が25mL、空気採取量が200L (20L/min × 10min) の場合の定量下限濃度は、0.0000625mg/m <sup>3</sup> となる。
	ろ過捕集法	メンブランフィルター	原子吸光-還元気化法	定量下限値: 0.000988 $\mu\text{g/mL}$	硝酸、硫酸、過塩素酸法	NIOSH Method No.7900の応用 ・最終試料液の量が25mL、空気採取量が200L (20L/min × 10min) の場合の定量下限濃度は、0.0001235mg/m <sup>3</sup> となる。